

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年8月

（1）新規就農者基礎講座で幅広い知識を習得

8月22、23日に沖永良部事務所で延べ新規就農者18人、指導農業士3人及び町担当7人が参加し、新規就農者基礎講座を開催しました。講座では、農業普及課が農業経営、畑かん水利用、農作業安全、土壌肥料、病害虫対策、GAPなど幅広く講義しました。今年度は、新たに先輩農業者講話をカリキュラムに加え、講師の指導農業士からは、これまでの経験や「家族の和を大事に」、「家族経営協定で収益を妻の口座にも振込む」などやりがいを持つことの重要性について講話がありました。新規就農者からは、役に立つ情報だったとの感想が多かったです。

（2）ニンニク出荷反省会の実施

8月9日、JA和泊で令和5年産ニンニク出荷反省会を開催しました。出荷量は28t、販売額は24,902千円、平均単価は887円でした。令和5年産の単価は、販売期間中の大幅な下落もなく、昨年約1.3倍の単価となりました。なお、市場からは、箱に同封していた販促資材（島ニンニクの黒糖醤油づけレシピ）が好評だったという意見もありました。農業普及課からは、ネダニの防除や初期生育をそろえるため、かん水の徹底を呼びかけました。

（3）沖永良部果樹生産組合マンゴー品評会の開催

7月29日、マンゴー品評会が和泊町で開催され、組合員、関係機関等約40人が参加しました。品評会には13点が出点され、玉揃い、外観、糖度、食味の項目で審査を行い、金賞1人を含め5人が入賞しました。今年産は開花期から収穫期の好天気恵まれ、例年よりも収穫が早まり、着色の優れた果実が多くなりました。品評会終了後には、農業開発総合センター普及情報課と大島支場による「当地の気象に応じた整枝や着果安定対策に関する研修」も行われ、次年産の高品質果実の安定生産に向けて有意義な会となりました。

